

I N D E X

BioJapan 2014 開催報告

マイクロ RNA ユーザーフォーラム説明会開催報告

第2回 JMAC シンポジウム「バイオ産業基盤としての国際標準化」のご案内

BioJapan 2014 開催報告

BioJapan 2014 が 10 月 15 日 (水) ~ 17 日 (金) までパシフィコ横浜で開催されました。BioJapan は、16 回目の開催を迎えビジネスパートナーリングを基軸に、国内外から 29 ヶ国・地域と 678 社の参加がありました。

展示会出展者数は 538 社、パートナーリング参加企業数は 678 社、パートナーリング参加者数は 1,127 名、来場者数は 12,734 名と出展者及びパートナーリング参加共に 2011 年より年々、増加し非常に盛況でした。

JBIC ブースでは、JBIC が実施、参画しているプロジェクトの概要やこれまでの研究成果についての紹介、JBIC 会員企業による展示等を行いました。また、JBIC ブースにて連日会員企業の方によるプレゼンを行い、大変盛況な 3 日間となりました。

今年は、展示会場内に設けられたセミナー会場にて行われる出展者プレゼンテーションにおいて、JBIC が関係するプロジェクトの研究について研究リーダーの方々に講演していただきました。プレゼンテーションでは、研究開発成果の普及活動の紹介及び最新の研究紹介をしていただきました。

JBIC ブース及び出展者プレゼンテーションにお立ち寄りいただいた多数の皆様、誠にありがとうございました。

来年の BioJapan2015 は、2015 年 10 月 14 日 (水) ~ 10 月 16 日 (金) にパシフィコ横浜で開催されます。来年のテーマ案は「進化しつづけるバイオ産業」の予定で検討中です。

来年も皆様のご来場をお待ちしております。

マイクロ RNA ユーザーフォーラム説明会開催報告

新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の今年度新規プロジェクトである「体液中マイクロRNA測定技術基盤開発」のユーザーフォーラム説明会を10月29日（水）国立がん研究センター 築地キャンパス内 国際研究交流会館で行いました。

本説明会の参加者は106名（65社）に及び、製薬、診断薬及び機器、分析・計測システム、Chip・化学・材料・素材・部品、IT情報、受託・サービス・コンサル等の多種多様な企業から参加がありました。

本説明会では、本プロジェクトリーダーの国立がん研究センター研究所の落谷孝広先生からプロジェクトの概要と実施計画について、本ユーザーフォーラムの事務局からユーザーフォーラムの目的、運営、会員規約、申し込み方法等について、国立がん研究センター中央病院の加藤健先生からがん臨床について、国立がん研究センターの金井弥栄先生と国立長寿医療研究センターの新飯田俊平先生からバイオバンクについて説明がありました。

このマイクロRNAユーザーフォーラムの目的は、本プロジェクトの研究成果を診断薬・診断受託企業及び製薬企業等の出来るだけ多くの企業に円滑に橋渡しを行い、その成果活用を図り、実用化を推進するところにあります。ユーザーフォーラム入会のメリットは、以下の通りです。

- ・プロジェクトでどのような成果が出ているかの情報を、定期的開催される報告会及びユーザーフォーラムのホームページから早期に入手することができる。
- ・詳細な情報の提供をフォーラム事務局経由で依頼することができる。
- ・プロジェクトでの研究開発の進め方等について、企業側のニーズを出すことができる。

ユーザーフォーラム事務局の運営はJBICとバイオチップコンソーシアム（JMAC）が協力して実施いたします。

様々な分野の企業からのユーザーフォーラムへの参加をお待ちしております。

ユーザーフォーラムに関する情報及び入会申込書は下記のURLにございますので、是非ともご参照ください。

<http://www.jbic.or.jp/enterprise/developer/018.html>

第2回 JMAC シンポジウム「バイオ産業基盤としての国際標準化」のご案内

特定非営利活動法人バイオチップコンソーシアム（JMAC）では、第2回 JMAC シンポジウム「バイオ産業基盤としての国際標準化」を下記の通り開催します。

日時： 2015年1月9日（金）12:00～18:00

会場： 講演会場：東京ウィメンズプラザ ホール（地下1階）

(会員企業技術紹介パネル展示)

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5丁目53-67

主催： 特定非営利活動法人バイオチップコンソーシアム (JMAC)

後援： 経済産業省、産業技術総合研究所、日本臨床検査標準協議会

定員： 240名

参加無料

【プログラム】

12:00 開場
12:00-13:00 展示閲覧
13:00 - 13:05 会長挨拶
13:05-13:15 「バイオ産業の今後の展望」
13:15-13:25 「臨床検査分野の国際標準化」
13:25-14:05 「Quality Management, Standards and Accreditation
Why, What, Who, How?」
14:05-14:45 「International Standardization and Improvement of
Pre-analytical Workflows for Securing High Samples
Qualities」
14:45-15:15 「遺伝子検査の産業化拡大に伴う留意点(遺伝子検査の品質の観
点から)」
15:15-15:35 休憩
15:35-16:05 「遺伝子検査ビジネスに必要な要件(臨床検査室の認定制度の観
点から)」
16:05-16:35 「医療機器の開発から承認申請に至るまでのプロセスで産業界が
留意すべき点」
16:35-17:05 「遺伝子検査の妥当性評価のための核酸認証標準物質」
17:05-17:35 「バイオ産業化に必要な要件と国際標準化の意義とは」
17:35-17:40 閉会挨拶
17:40-18:00 展示閲覧
18:00 閉場

【シンポジウムの詳細及びお申し込みはこちらから】

<http://www.jmac.or.jp/ja/sympo201501.html>

=====

「JBIC 会員企業からのご案内」の項目を設けております。
JBIC 会員企業で掲載して欲しい記事がございましたら、ご連絡ください。
なお、掲載の可否については JBIC 事務局にて判断させていただきますので予めご了承
ください。

JBIC に関するご意見、ご質問、お問い合わせはこちらから。

<https://www.jbic.or.jp/roku/contact/>

=====

配信中止、変更はこちらから。

<http://www.jbic.or.jp/news/mailmaga/>

=====
発行：一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム
JBIC めるまが編集部 <http://www.jbic.or.jp/>

=====
Copyright(c) 2014 JBIC. ALL rights reserved.